

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

兵庫県西宮市 中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド訓方	救臨輸
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
485,788	19,375	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

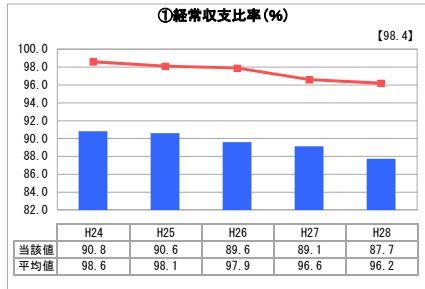
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
257	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	257
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
193	-	193

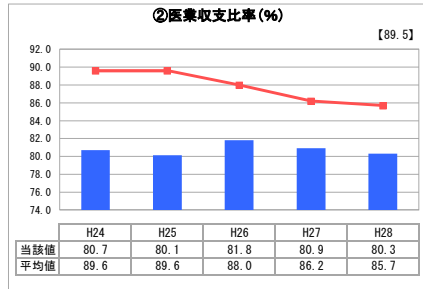
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

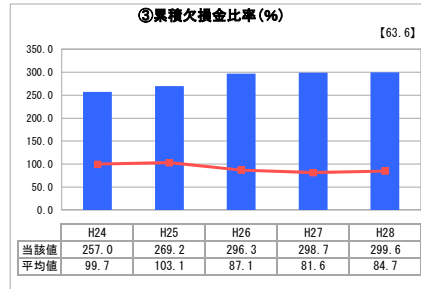
## 1. 経営の健全性・効率性



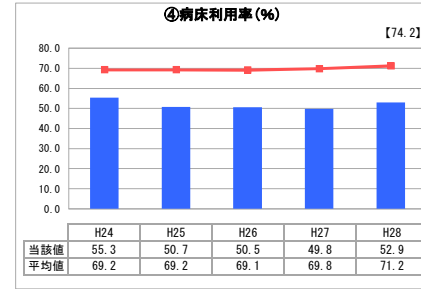
「経常損益」



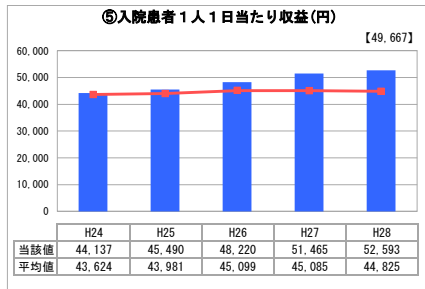
「医業損益」



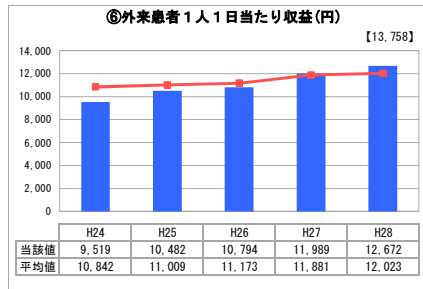
「累積欠損」



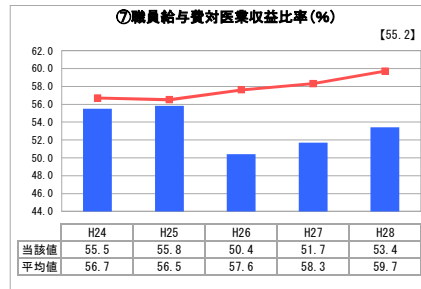
「施設の効率性」



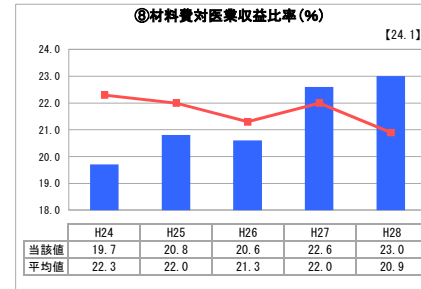
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

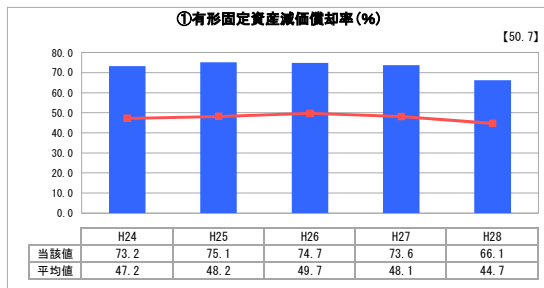


「費用の効率性①」

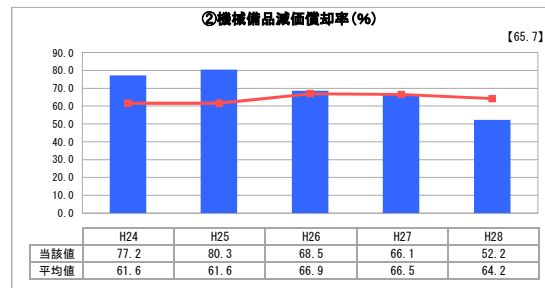


「費用の効率性②」

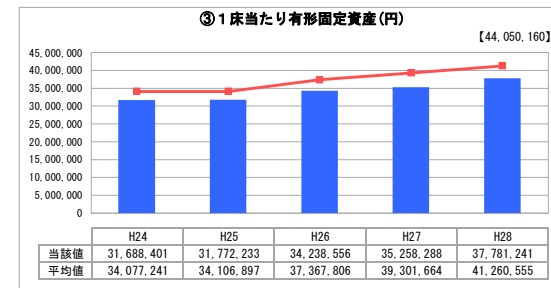
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## II 地域において担っている役割

- ① がん医療を始めとする高度な医療を提供する地域の中核病院としての役割を果たしている。
- ② 小児救急を含む2次救急を中心に病院群輪番制の下、民間医療機関などとの協力により市内の救急医療の一翼を担っている。
- ③ 地域の医療機関などとの連携を強化し、地域完結型医療の構築に向けて、中心的役割を果たしている。
- ④ 大規模災害時においても継続して医療の提供ができるよう、院内の体制の整備を図るとともに、他の医療機関や関係団体との連携強化に努めている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当院では、より安全で質の高い医療を提供するため、医療スタッフの確保や充実、医療機器の整備を図るとともに、平成28年度には、患者の状況に応じた適切な医療を提供するため、病棟再編（地域包括ケア病棟及びHCUの設置）を実施した。

その結果、費用については、医療スタッフの増員に伴い、職員給与費が医業収益に占める割合も近年増加傾向にある。また、一般的に材料費が高いといわれる循環器系疾患の診療強化（スタッフの確保及び医療機器の整備）を図ったことにより、材料費の医業収益に占める割合も近年増加傾向にある。

一方で、入院、外来ともに患者1人1日当たり収益は年々増加し、病床利用率も上昇に転じている。

しかしながら、移転整備計画の撤回に伴い、近年、これまで控えていた医療機器の更新や施設改修などを短期間で実行し、多額の減価償却費が発生しているため、経常収支比率の改善には至っていない。

### 2. 老朽化の状況について

上述のとおり、近年、これまで控えてきた医療機器、施設や設備の老朽化対策を計画的に行っていることから、有形固定資産減価償却率及び機械備品減価償却率は減少傾向にあり、その効果が数値上にも現れている。

## 全体総括

当院では、平成27年に「経営改革プラン」を策定し、「医療サービスの向上」と「経営の健全化」を図るため、各種の取組を進めている。上述のとおり、近年では、設備投資と医療スタッフの確保・充実に努めたことから、医業収益は増加傾向にあるものの、人件費、材料費、減価償却費等の医療費用も増加傾向にある。

引き続き、「経営改革プラン」に掲げた取組を着実に実施し、より安全で質の高い医療の提供に努めるとともに、投資したヒト・モノを最大限に活用し、さらなる収益の向上と費用の適正化に努めていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。